



今回は、2 年 1 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 1 班はわかさプラザでレモネードスタンドを開きました

研究テーマ: ALSF について

日 時: 2019 年 11 月 10 日(日) 10:00 ~ 15:00

会 場: わかさプラザ

参加者: 兼松きよ実 多田朱李 長尾美咲 成瀬乃衣 藤井智之 船戸ひなた 山田空
渡邊みにい

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



心配なことはたくさんあったけど、思っていたよりも多くの人が小児がんに興味を持ってくれたし、「美味しかったです。」など、レモネードの感想を言ってもらえたので嬉しかったです。そして何よりたくさんの方が募金に協力してくれたことが一番の成果だと思います。



SDGsのロゴより

◇ 私たち 3 班は名古屋難民支援センターと連絡を取りました

研究テーマ: 教育と労働力の give&take (日本が教育面でできること)

訪問先: 名古屋難民支援センター

参加者: 梶浦朱里 斉藤エドアルド 清水悠安 須田陸太 藤田亜華音

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



名古屋難民支援室 (DAN)

- ・ UNHCR の支援対象者は世界で約 7480 万人
- ・ 強制的に家を追われた人は平均して 1 分に 25 人
- ・ 世界では 108 人に 1 人が難民になっている
- ・ 2 秒に 1 人が故郷を追われている
- ・ 1 日約 3 万 7000 人が紛争や迫害、暴力等により避難を余儀なくされている





今回は、2 年 1 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 4 班は岐阜駅で街頭アンケートを行いました

研究テーマ: LGBT

日 時: 2019 年 8 月 7 日(水) 14:00 ~ 15:30

訪問先: JR 岐阜駅

参加者: 足立依美奈 亀山佑奈 塚原愛鈴 中島愛海 日比野夏凜 藤井萌菜 若井美緒

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フィールドワークで、LGBT という言葉を知っているか、アライという言葉を知っているかなどの質問をするアンケートを行いました。積極的に話を聞いてくださったり、真剣にアンケートに答えてくださったりして、とてもありがたい気持ちになりました。アンケート結果を見ると、LGBT という言葉は比較的たくさんの人が知っているという回答が返ってきました。しかし、アライ(性的マイノリティの理解者)という言葉はあまり知られておらず、もっとたくさんの人にこの言葉とこの考えが広まってほしいと思いました。今回の活動を通して、私たちもアライになれるように日ごろから行動したいと思います。



SDGsのロゴより

◇ 私たち 5 班は三洋堂書店さんを訪問しました

研究テーマ: 女性への偏見に伴う男性への偏見

日 時: 2019 年 8 月 1 日(木) 14:50 ~ 15:00

訪問先: 三洋堂書店せき東店

参加者: 江口翔瑛 佐藤瑞己 杉浦光星 野倉瑚啓 和田航輝

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フィールドワークを通じて一番驚いたことは、レディースデーに対して男性客からの「メンズデーを作ってほしい。」などの声があったことです。レディースデーを作ることは、経済面から考えると利点がいくつかあり、メンズデーよりもレディースデーを多く作る理由が分かりました。





今回は、2 年 1 組のフィールドワークの報告をします。

◇ 私たち 6 班は岐阜県ユニセフ協会を訪問しました

研究テーマ：すべての人が平等に暮らせる社会

日 時：2019 年 8 月 13 日(火) 13:00 ~ 15:00

訪問先：岐阜県ユニセフ協会事務所

参加者：安藤雪葉 石原伶緒 田脇菜乃 長谷部有咲 森絢香

◇ フィールドワークを通して学んだこと・感想



フィールドワークを通して、SDG's の問題と解決のための動きについて知ることができ、私たちの課題である、「国と人の不平等」を生み出すのは教育の格差だと考えました。

教育を受けられないと、生きていくのに最低限必要な知識が身につかないため、就ける職が限られ、収入も限られてしまいます。つまり、貧しさから抜け出せなくなるのです。初等教育を受けられず、読み書きもままならない人が多い状況で、国の発展を望むこ

となどできません。将来を担う子供たちのために学校を作り、教育を受けられる環境を作ることが必要だと考えます。

自分の視野を広げ、将来の進路の選択に役立てるために、教育の現状を改善することから始めると良いと思いました。



SDGsのロゴより